総合的な学習の時間	第３学年	福山市立城北中学校	指導者　松林 剛史

単元名

「地域の課題を考えよう」～みんなが住みよい地域環境をめざして～

本単元で育成する資質・能力　知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体的に学ぶ力，他者とかかわる力，社会貢献力，自己形成力

単元について

１　生徒観

３学年は，男子１３５名，女子１２０名の合計２５５名である。本学年の生徒は，授業にまじめに取り組む生徒が多く，学校生活も全体的に落ち着いている。アンケート結果から分かるように班での話し合いなどの際，互いに意見を出し合うことには，比較的抵抗なくできる生徒が多く『他者とかかわる力』は身に付けている。そのような生徒は，授業中の発表等も積極的である。一方，自分の考えを積極的に言えない生徒も少なからずおり『思考力・判断力・表現力』に課題がある。また，自ら課題を設定し実践する活動に対する項目も低く，『主体的に学ぶ力』にも課題がある。

表１　第２学年次生徒アンケート

資質・能力及び態度	アンケート項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
思考力・判断力・表現力	①授業では，解決しようとする課題について，「たぶんこうではないか」，「こうすればできるのではないか」と予想しています。	33.9%	47.9%	14.1%	4.1%
	②授業では，自分の考えを積極的に伝えています。	23.6%	36.8%	35.1%	4.5%
他者とかかわる力	③授業では，友だちと話し合うなどして，自分の考えを深めたり，広げたりしています。	40.1%	40.1%	16.5%	3.3%
主体的に学ぶ力	④「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	30.2%	39.7%	23.1%	7.0%

（平成 27 年 12 月 20 日 233 名）

２　単元観

本校区は，４小学校を含む大きな学区であり，市の中心部に位置している。様々な交通機関や文化施設，公共施設，事業所も多くあり，地域に目を向ければ多くの材がある。しかしながら，地元の良さや課題について考えたり，触れたりする機会があまりないという生徒の実態から，総合的な学習の時間において，「地域理解・社会貢献」の単元を各学年で設定している。

本単元は，各学年で設定している「地域理解・社会貢献」学習の最後の単元となる。第１学年では，地域の文化や歴史などを専門家のもとに出向いて調べることを通して地域への理解を深め，第２学年では，城北中学校区にある事業所での「職場体験」を経験し，勤労観や職業観について考えることを学習している。そして，第３学年では，「地域の課題を考えよう」というテーマのもと，自分たちの力で身近な地域の課題を見いだし，その改善策を考え提案することを通して，『主体的に学ぶ力』や『思考力・判断力・表現力』を育て，地元の地域に深い関心を持ち，地域に貢献しようとする『社会貢献力』や『自己形成力』を伸ばしたいと考え本単元を設定した。

また，地域の課題に対してより完成度の高い改善策が提案できるよう，現地調査や実地調査を行うことを通して，地域の方とも課題や改善策を共有しながら活動を進める。これにより，『他者とかかわる力』を高めることが期待される。さらに，改善策の提案では，福山市の行政担当者にも協力を仰ぎ，生徒の提案を受けていただいたり，専門的な見地からのアドバイスをしていただいたりすることにより社会参画性の高い学習とする。

３　指導観

指導にあたっては，地域に貢献したいという生徒の願いを大切にしながら，地域へ出向いて，より具体的な課題を見出し，改善の方法を考えさせる。その過程において，地域の方や福山市の行政担当者との関わりを通して，自分たちに寄せられる期待や思いに気付くとともに，社会貢献や社会参画することへの意義や意味，喜びも実感させたい。

また，本単元の学習で，日頃自分の考えを積極的に発言することが難しい生徒にも自ら考え行動する機会にしたいと考え，意図的に発表や意見交換の場を多く設ける。協働的な学びを通して，個人やグループ全員の意見や考え，活動がつながるようにしたい。

学習過程の各場面においては，以下の内容に重点を置いて指導を行う。

課題の設定の場面では，主体的な活動になるようにグループ協議を行い，自分たちで課題を見つけ，　実行していこうと意識付けさせる。

情報の収集場面では，現地調査に行く前に，地域の方への質問項目や，地域を見る視点を絞ることで，目的を持って現地調査を行わせる。

整理・分析の場面では，現地調査の結果をまとめる際，「ウェビング」を行い改善策の具体案を多く考えさせ，情報を整理し，拡大地図にわかりやすくまとめさせる。「一枚企画書」を作成することで，要点をまとめ，伝わりやすい表現を考えさせる。

まとめ・創造・表現の場面では，作成した企画書を一度地域の方にも評価していただくことで，自分たちでは考えることのできなかった別の視点に気付き，企画内容を深めさせる。

実行の場面では，最終的な提案として福山市行政担当の方に向け提案を行い，評価していただく。提案を行うことができないグループの企画書も担当者へ提案書として受け取っていただき，後日評価を回答していただく。

振り返りの場面では，本単元の振り返りを行い，自らの学習の過程について自己評価や他者評価を行う。また，後半の単元「３年間の学びを形にしよう」の方向付けもする。

単元の目標

単元の活動を通して，地域環境について課題を見出し，地域の方や専門家の方に協力してもらいながら，よりよい改善策を提案することができる。

育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度			評価規準
知識	知識・技能	知	①地域の環境の課題を具体的に見出すことができる。
スキル	思考力・ 判断力・ 表現力	思	①見出した課題の中から，必要な情報を抽出し，まとめることができる。 ②提案までを見通して，何をすべきかを計画することができる。 ③相手に伝えるべき内容を選択し，どのような方法で伝えるかを決定できる。
意欲 態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見出し，課題を解決する方法を考えることができる。 ②自ら課題を見出し，協働してよりよい方法で解決することができる。
価値観 倫理観	他者とかかわる力	他	①地域の福祉向上のために，地域の人へ調査することができる。 ②仲間と話し合いながら，考えを深めることができる。 ③活動や取組の成果を，協力してくださった方と共有できる。
	社会貢献力	社	①地域の環境を，みんなが住みよいものにするために，何をすべきかを考えたり，実行に移したりすることができる。
	自己形成力	自	①課題解決のために，前向きに試行錯誤している。 ②単元の学習を進めながら，この地域の課題を解決する意義を考えることができる。

単元と評価の計画

1　年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「地域の課題を考えよう」～みんなが住みよい地域環境をめざして～　（３８時間） 地域理解・社会貢献							「３年間の学びを形にしよう」 （３２時間） 自己探究				

2　単元と評価の計画

小単元名	学習過程	時数	学習内容 学習活動	評価規準 （評価方法）	教科との関連
「地域の課題を考えよう」	情報の収集	1 2 3	○オリエンテーション ・３年生の総合的な学習の時間で何を学び，どのような力を付けていくのかを確認する。（１） ○城北中学校区の環境で，問題となるところを日頃の生活から想起する。 ・城北中学校区の施設，設備で不便なものや，問題のあるものを交流する。（１） ・問題のある施設・設備を校区の地図上に示しまとめる。（１）	【思－③】 （行動観察）	
	課題の設定	4	○自分が住む地域について問題点を考える。 ・自分たちが思う地域の問題点について，具体的要因を考える。 ・自分たちが考える地域の問題点には，要因を特定するには，情報が不足していることに気付く。（１） ⇒地域の環境の問題点について，もっと調べたい。	【思－②】 【主－①】 （行動観察）	
	整理・分析	5 6	○グループごとに，現地調査する区域を決定し，計画を立てる。 ・グループごとに調査する区域を決定し，現地で調査する施設・設備について調査項目を整理する。（２）	【思－①】 【思－②】 （行動観察）	⇔社会 地域を調べる ・地形図の見方
	情報の収集	7 8 9	○現地調査を行う。（３）	【知－①】 【他－①】 （行動観察）	⇔体育 集団行動 ・あいさつ ・礼 ・声の大きさ
	整理・分析	10 11 12 13	○調査結果を整理する。（４）【本時】	【主－①】 【思－①】 【他－②】 （行動観察） （自己評価表）	
	情報の収集	14 15	○地域の福祉施設等へインタビューのアポイントメントをとり，実地調査を行う。 ・電話でアポイントメントを取る計画をたて，実地調査で調べる内容や質問内容を決める。（２）	【自－①】 【他－②】 （行動観察）	⇔保健 人とのかかわりと自分らしさ ・社会性 ・中学生期における人とのかかわり方
		16 17	・実地調査を行う。（２） （インタビューを実施する。）	【知－①】 【他－②】 （行動観察）	
	整理・分析	18 19	・調査結果を整理する。（２）	【思－①】 【他－②】 （行動観察） （自己評価表）	

<table>
<tr><td rowspan="9">「地域の課題を考えよう」</td><td>課題の設定</td><td>20
21</td><td>〇現地調査と実地調査から，課題を設定する。
・調査から明らかになった地域の問題点を見出し，地域環境の向上のためにできることを考える。（２）
⇒地域環境の課題を知ってもらうとともに，私たちの意見を伝えたい。</td><td>【他－②】
【主－①】
（行動観察）</td><td>⇔社会
地域を調べる
・調査結果のまとめ方</td></tr>
<tr><td rowspan="2">情報の収集・整理・分析</td><td>22

23
24</td><td>〇地域環境の向上のための案を考える。
・福山市行政に地域の課題と私たちの意見を企画書にして提案することと，企画書の作成方法について確認する。（１）
・ワークシートに案を書き出す。（２）</td><td>【思－①】
【社－①】
（行動観察）</td><td>⇔数学
情報を表やグラフを用いて整理する</td></tr>
<tr><td>25
26</td><td>・企画書の第１案を作成する。（２）</td><td>【思－①】
【自－①】
（行動観察）
（企画書）</td><td></td></tr>
<tr><td>まとめ・創造・表現</td><td>27
28
29
30

31
32
33
34</td><td>〇提案のための発表原稿をつくる。
・発表の役割分担を決定し，原稿を作成する。（２）
・クラスごとに，地域の方にも参加していただき，各教室でグループごと提案を行い，相互評価を行う。（２）
⇒私たちの考えは，まだ甘いところが多いな。
・企画書及び発表原稿の修正を行う。（３）
・クラス内で再度プレゼンを行ってクラス代表の企画を決定する。（１）</td><td>【思－③】
（行動観察）
（企画書）</td><td>⇔数学
根拠をもって論理的に説明する</td></tr>
<tr><td>実行</td><td>35
36</td><td>〇福山市行政担当者の方に，ゲストティーチャーとして来ていただき，企画書についてのプレゼンテーションを行う。（２）
※各クラス１班が代表してプレゼンテーションを行う。
※ゲストティーチャーより講評をいただき，企画に対する新しい視点をいただく。
※この日にプレゼンテーションをしていないグループについては，作成した企画書は福山市行政担当者へ提出し，後日講評をいただく。</td><td>【思－③】
【主－②】
【他－③】
（行動観察）
（他者評価表）
（自己評価表）</td><td>⇔技術
作品の表現
・発信，パワーポイントでのプレゼンテーション</td></tr>
<tr><td rowspan="2">振り返り</td><td>37</td><td>〇今回の学習を振り返り，「振り返りシート」にまとめる。（１）</td><td>【自－②】
（自己評価表）</td><td>⇔国語
学習したことを自分の言葉で表現する</td></tr>
<tr><td>38</td><td>〇３年間の総合的な学習の時間を振り返り，「自分史づくり」への方向付けをする。（１）</td><td>【思－①】
（自己評価表）</td><td></td></tr>
</table>

本時の学習展開

1　本時の目標

地域の課題の解決に向け，自分なりにできることは何かということを，各班の発表から考えることができる。

2　学習展開（１３限目/３８）　**整理・分析**

	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入	1　本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①各班がそれぞれ担当した地区の課題を順番に発表することを確認する。	①担当した地区ごとに班で発表させる。 ・拡大地図を掲示して発表する。 ・発表のための役割分担をさせておく。 ・発表しない班は，ワークシートに記入しながら発表を聞く。	
	【本時のめあて】 地域の課題の解決に向け，「自分たちに何ができるのか」発表を聞いて考えることができる。		
展開①	2　各班の発表を聞き，自分たちにできることを考える。 ①各班が発表する地区ごとの課題に対して，自分たちにはなかった発想や，自分たちの地区でもできそうなことをワークシートに記入する。 ②各班の発表に対して，気付きや意見を発表する。	①各班の発表内容をワークシートにメモさせる。 ②新しい発想に気付かせる。	他の班の発表を聞き，課題の解決策を生み出すことができている。 【主−①】 （行動観察） （自己評価表）
展開②	3　考えたことを，担当した地域に生かす。 ①各班の発表から得た情報を，自分達の地区に置き換えて考え，できそうなことがあれば地図に書き加える。	①自分たちにはなかった発想で地図を見直し，当てはまるところがあれば地図に記入させる。	
まとめ	4　本時のまとめをする。 ①発表，交流した内容を踏まえ，本時のまとめをワークシートに記入する。	①別の視点から見ると，様々な発見があったことを確認させる。 ②次回からは，福祉施設等へのインタビューから，さらに深めていくことを確認する。	